

コロナ禍の今こそ保健授業の充実を ～「換気くん」を使った空気の汚れの視覚化～

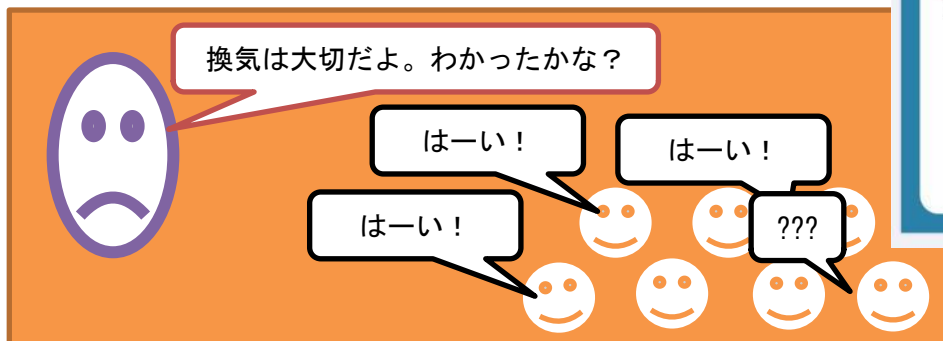
日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

三つの密を避ける手段の一つに「換気」があります。しかし、子どもたちは空気の汚れや空気を入れ替えることの重要性が今一つわかっていないように思います。また保健を教える私たちも、知識としては伝えられても子どもたちの生活に影響を及ぼすほど理解させたと自信を持って言えません。

私は授業改善の一つに、実験実習を行うことが大切と感じています。そこで今回は、汚れた空気やウィルスの可視化がうまくいけば、「換気」について少し理解が深まるのではないかと思い立ち、「換気くん」なる実験器具を作り授業にのぞみました。



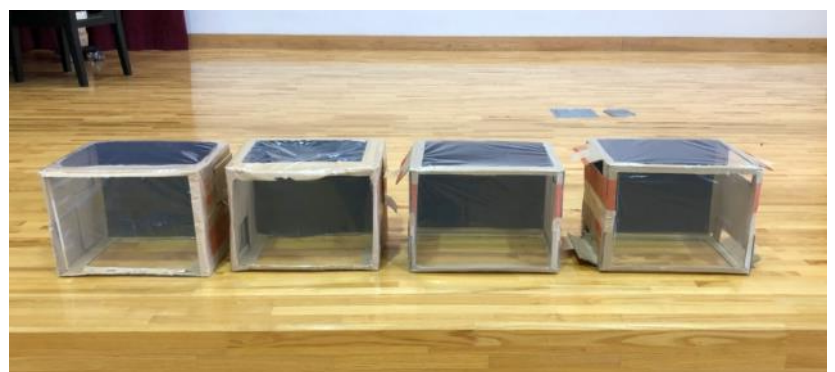
(厚生労働省ポスター)



これじゃあちょっとさみしい



どの学校にも大量にある段ボール カッターで前面、上面、下面をくり抜き、ビニールとガムテープで上面、前面を密閉し、背面は煙が見えるように黒い紙を貼り付け、横に窓を作る



転任を繰り返し引越しの際に潰れた「換気くん」も割り箸等を骨組みにして復活 今回4つの「換気くん」で授業を行うことにした



線香数本を二つに折ってガラスコップへ

その後「換気くん」を上からかぶせる



スタート



1分後



2分後（真っ白に）



上の窓を左右開け換気スタート



下の窓も開ける



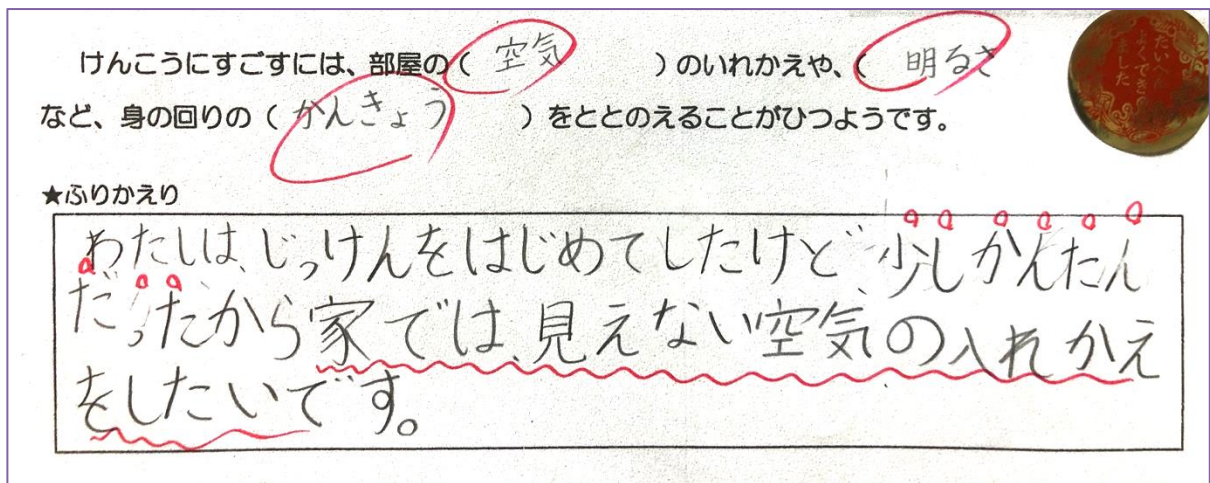
ほぼ最初の状態に



興味津々に実験する3年生（密集していますね 反省）



しかし、実験後の移動は間隔をとって教室に戻っていました



上の写真はある子の授業後の感想です。授業で得た知識が単に記憶するだけの知識にとどまらず、自分の生活をよりよくする知識として、子どもたちに定着してもらえたら嬉しいです。